

新たな教育センター基本構想策定業務委託評価結果

新たな教育センター基本構想策定業務委託について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり受託候補者を決定しました。

1 件名

新たな教育センター基本構想策定業務委託

2 委託内容

- (1) 基本構想の作成
- (2) 各種会議等の運営支援
- (3) 基本構想本編及び概要版の作成

3 契約の相手方

株式会社浜銀総合研究所

4 評価結果

順位	提案者	最終評価点数(委員6人の採点の合計点)
1	株式会社浜銀総合研究所	440

■ 評価基準は別紙のとおり

5 評価委員会開催経過

委員会開催日時及び開催場所	平成31年4月25日 14時00分～15時00分 関内駅前第一ビル
評価委員の出席状況	出席6/委員数6(人)(充足率100%)
主な質疑の観点	○基本構想策定業務の中で大事なポイントについて ○民間活力の導入や大学・民間企業との連携の具体的な実施方法について ○今までの検討内容の見直しの可能性について ○市民や企業の視点でどのような教育センターがあればよいか ○検討体制を支援するときの留意点やスケジュールに無理はないか

6 問い合わせ先

教育委員会事務局教育政策推進課
TEL 045-671-3243

**「新たな教育センター基本構想策定業務委託」に関する
プロポーザルに係る提案書評価基準**

表1の評価項目及び配点のもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

採点が同点の場合は、評価事項のうち、業務実施方針の合計点数で再評価を行い、受託候補を特定します。

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価 (A～E)	評価点
業務実績 (40点)	(1) 企業	過去10年間の同種又は類似業務の実績	10		
	(2) 管理技術者	過去10年間の同種又は類似業務の実績	15		
	(3) 担当技術者	過去10年間の同種又は類似業務の実績	15		
業務実施方針 (40点)	(1) 業務に対する考え方の妥当性	本業務の趣旨及び目的を十分理解しているか	10		
	(2) 業務実施手法の妥当性	・基本構想策定のための各検討手法の具体性、確実性かどうか ・庁内プロジェクトのマネジメント手法は実効性があり、効率的か	10		
	(3) 業務実施工程（スケジュール）の妥当性	・契約期間内に仕様書の内容を満たす計画となっているか ・次年度以降の実施内容や工程を踏まえた計画となっているか	10		
	(4) 業務実施体制の妥当性	業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力が高い体制か	10		
ヒアリング (20点)	取組意欲		10		
	理解度・専門技術力		10		
評点の合計（100点満点）					

(1) 業務実績については、A、C、Eの3段階評価を行う。

(2) 業務実施方針及びヒアリングについては、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(3) 評価点について、次のように配点を行う。

配点にA=5/5、B=4/5、C=3/5、D=2/5、E=1/5を乗じて算出する。

ア 業務実績

配点15点 A=15点、C=9点、E=3点

配点10点 A=10点、C=6点、E=2点

イ 業務実施方針、ヒアリング

配点10点 A=10点、B=8点、C=6点、D=4点、E=2点

(4) 評価項目において、1項目でも評価がEとなった場合は選定しない。

(5) 同種又は類似業務について

ア 同種業務

教育センター機能（教育研究・開発、教職員研修、教育相談等）を有する施設の基本構想策定業務、基本計画策定業務、官民連携事業手法検討業務

イ 類似業務

公共施設（庁舎、子育て・福祉施設、文化・交流施設等）の基本構想策定業務、基本計画策定業務、官民連携事業手法検討業務

表2 評価の視点

評価項目	評価の着眼点		評価				
			A	B	C	D	E
業務実績	企業	過去10年間の同種又は類似業務の実績	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある		本業務に生かすことができる業務実績がある		本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
	管理者 管理技術	過去10年間の同種又は類似業務の実績	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある		本業務に生かすことができる業務実績がある		本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
	術担 者当 者技	過去10年間の同種又は類似業務の実績	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある		本業務に生かすことができる業務実績がある		本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
業務実施方針	(1) 業務に対する考え方の妥当性 本業務の趣旨及び目的を十分理解しているか		的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり把握していない	把握していない
	(2) 業務実施手法の妥当性 ・基本構想策定のための各検討手法の具体性、確実性はどうか ・庁内プロジェクトのマネジメント手法は実効性があり、効率的か		具体的な手法に基づいた実効性のある提案である	実効性のある提案である	どちらともいえない	あまり実効性のある提案ではない	具体性がなく、実効性のある提案ではない
	(3) 業務実施工程（スケジュール）の妥当性 ・契約期間内に仕様書の内容を満たす計画となっているか ・次年度以降の実施内容や工程を踏まえた計画となっているか		計画性があり、今後の行程が見通せる内容である	計画性がある内容である	どちらともいえない	あまり計画性がある内容ではない	計画性がなく、今後の見通しが乏しい内容である
	(4) 業務実施体制の妥当性 業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力が高い体制か		提案内容に対して、十分な体制が配置され、業務遂行能力が高いと感じられる	提案内容に対して、必要な体制が配置されている	どちらともいえない	提案内容に対して十分な体制が配置されていない	提案内容に対して体制が不十分である
ヒアリング	取組意欲の感じられる提案であるか		強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
	業務に必要な専門的知識を持ち、質問に対して的確な受け答えができているか		特に優れている	優れている	どちらともいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない